

健鬥改選反対！日雇陣止廃止阻止に起て！ 太田市民館集会後、『勝利号』ご慶祝へのりこもう。

許可

伊藤國一郎。

日雇改選は決して場だ。一矢報ひ。

現在、国改選の問題でこの問題が最も進行している。対決、投票法改選の問題と日雇陣止廃止問題を提出してある。しかし日雇法廃止の問題は、最大のヤバ事もやめての争点は、最も大きな問題である。金田井、年譲団は、うつむいて座りに行かせ(し)まし、4千名の仲間の署名と、田舎署名を提出して、また、対決改選でもを斗い競き、メーデーでけれるが、廢止されると、田舎ばかりの13名の戦士たちも、組合行動者や市民に日雇陣止反対を訴え、着服に支拂いや賃金を勝ちとつこけてくる。田曾根は、日雇改選ならぬへなる。つまり死ねどうとした。

方市民館ご承認団を作り、決戦へたちよへ！

まあ、2月、朝6時から日雇は、どう出こまに全やる權利を守り切りお盆斗争に起きたため、全日本で、また、力強い斗争と、日雇の仕事を日雇組合議会=田舎全席、山谷、山谷、山谷で出合った仲間ともの争ひ、田舎議会、東日本、西日本、新潟日本、健闘止廃止の大戦にたちよへ！組の仲間と固く、力強い戦列をうちめ、田曾根のイイナリの厚生省のコツは役人便に、おたたかげこやうへ・

61年、山谷・金子崎農業的運動など多く

動や70年代の笠井斗の運動など多くの田舎の日雇の上に斗争

